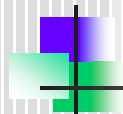


SOA部会活動のご紹介

2007年5月15日

SOA部会サブリーダー

日本アイ・ビー・エム(株) 日力俊彦



SOA部会



■ 背景

- 2004年度より、XMLコンソーシアムにて活動を開始
- 前身は、テクノロジー部会WebサービスWG

■ 目的

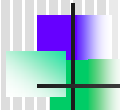
- 抽象的なSOAの概念から具体的なビジネス面でのメリット、システム設計/実装の方針、Webサービスの有効活用方法等を導き出す
- 得られた知見や情報を外部に発信することで、SOAやWebサービスの普及・発展に貢献する



活動内容(1/2)



- 2006年度重点施策
 - SOAの具体的なイメージを開発者 / ユーザーに提示
 - SOAの開発ツールや実行環境が整備されてきた状況に鑑み、SOA開発プロセス(の一部)を実践し、部会での議論を深化する
- 活動内容
 - サービスの記述、発見、合成、実装に関する規格・技術の調査
 - SOAによるプロセス統合、B2B、EC等の実現事例の収集と分析
 - SOAやWebサービス関連ツールや開発環境、実行環境の調査
 - SOAの意義の認知や普及のための情報の発信
 - SOA実現に必要なノウハウ、アーキテクチャ・パターン、デザインパターンの収集と蓄積
 - ビジネスモデルの定義からWebサービスによる実装に至るSOA適用シナリオの作成
 - AJAXやリッチクライアント等の技術のトレンドとSOAとの関連の調査



活動内容(2/2)



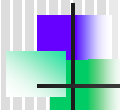
- 以下のWGの立ち上げ、活動実施
 - SOAガイド作成WG
 - SOAの捉え方に一定の尺度を！ ➡ セッション#2 SOA導入進捗度モデル
 - BPEL研究WG
 - “サービス”を構成部品とするフロー・テクノロジーに実際に触れてみよう！
 - サービス設計BP WG
 - “サービス”ってどうやって見つけるのか、やってみよう！ ➡ セッション#3 サービス設計のBP
 - SOAパターンの図的表現WG
 - SOAにおけるNFRはどうすれば可視化できるか、やってみよう！ ➡ セッション#4 サービス連携における非機能要件設計上の考慮点
 - Webサービス / リッチクライアント技術動向 / 適用検討WG
 - サーバー・サイド技術の進化にクライアントはどうついていくのか、追っかけてみよう！ ➡ セッション#5 SOA環境におけるクライアントシステムの検討



活動方法(1/2)



- 月例ミーティングでのF2Fのディスカッション
 - 2006年度実績: 毎月1回 / 第3木曜日
- ビジネス・イノベーション研究部会とのコラボレーション
(ミーティングの同日開催、メンバー交流)
- メールングリストによる日々の情報交換、ディスカッション
- 参加メンバー個人による個別テーマや事例の調査
- Webページ、雑誌記事、出版等外部向けコンテンツの作成
 - 2006年度実績
 - 雑誌記事: 技術評論社刊 エンジニアマインド Vol.1 特集記事
 - 外部講演: Modeling Forum 2006
 - 他
- XMLコンソーシアム他部会等との協調による技術の普及推進
- XMLコンソーシアムDay、XMLコンソーシアムWeekでの活動報告



活動方法(2/2)



- 対象者
 - SOAやWebサービスによるITシステムの実現 / ビジネス応用について興味をお持ちの方
 - プログラミング・スキルは不要
 - 必要に応じて、入門者向けセッションを実施
 - 部会内外より、エキスパートを招聘
- 会員メリット
 - SOA関連情報、ノウハウの獲得
 - 参加メンバーによる情報交換、人的ネットワークの確立



皆様のご参加をお待ちしております！